

幕張新都心モビリティコンソーシアム MaaS プラットフォーム PT
(第3回) 議事要旨

時間： 2022年12月16日(金) 9:00~11:00
場所： オンライン開催
出席： イオンモール株式会社
株式会社NTTドコモ 千葉支店
小田急電鉄株式会社
京成電鉄株式会社
株式会社JTBコミュニケーションデザイン
シャープ株式会社
損害保険ジャパン株式会社
株式会社千葉ステーションビル
長谷川工業株式会社
東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社
MONET Technologies 株式会社
公益財団法人千葉市観光協会
千葉市
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

以上 (順不同)

議題

- (1) 第1回・第2回 MaaS プラットフォーム PT の振り返り
- (2) 今年度 MaaS 実証実験について
 - ア. 今年度 MaaS 実証実験について進捗共有
- (3) MaaS 認知獲得施策の具体化検討
 - ア. 認知獲得施策の事例紹介
 - イ. MaaS 認知獲得施策に関連して各社取り組みたい内容の発表
 - ウ. 発表を受けてグループワーク

配布資料

- 資料1 第3回 MaaS プラットフォーム PT
資料2 22年度幕張新都心版 MaaS 実証実験 進捗共有
資料3 他の地域における MaaS の認知獲得事例

議事内容

1. 開会

2. 議題

- (1) 第1回・第2回 MaaS プラットフォーム PT の振り返り
 - 千葉市より資料1に沿って説明
 - 第1回 PT の振り返り
 - 幕張新都心版 MaaS 社会実装サポート事業採択者の株式会社 NTT ドコモより、今年度下半期 MaaS 実証実験の概要を共有
 - 昨年度実証の中で来訪者へのサービス認知と目的想起、モビリティ連携の3つの課題があることを共有し、課題解決策を検討
 - 第2回 PT の振り返り
 - 上記3つの課題のうち、来訪者へのサービス認知が最も必要かつ各社連携可能な領域であるため、MaaS 認知獲得施策に絞って検討
 - MaaS 認知獲得施策のうち、事務局で実現可能性・インパクトの観点から4つの施策案に絞り、PT メンバーで検討
 - 検討する4つの施策は以下の通り
 - A:街全体で連携して MaaS をアナログに案内
 - 看板やサインージュで来訪者や住民に対して MaaS をアナログに案内
 - B:観光や店舗等と連携した MaaS 案内
 - 観光協会や商業施設が発行する書類や管理するサイト、各施設や各種イベントなどで MaaS を案内。観光等を起点として MaaS 認知を拡大
 - C:幕張新都心の既存コンテンツを活用した MaaS 案内
 - アプリ等既存コンテンツの利用者を中心に MaaS 認知を拡大
 - D:イベント連動の MaaS 案内
 - 大型イベントと連動し、イベント来訪者を中心に MaaS 認知を拡大
 - 第3回 PT 以降の流れ
 - 中間まとめ報告会での皆様の声を受け、第3回 PT では4つの施策案を軸に各社取り組みたい内容を発表し、発表内容を踏まえた施策案の拡充を目指す
 - 年末から年明けにかけて、アンケートにて施策案の評価・優先順位付けを実施
 - 第4回 PT で、評価結果をもとに意見交換、PT のまとめを実施
 - (理想としては)次年度以降に、施策実行に着手
- (2) 今年度 MaaS 実証実験について
 - ア. 今年度 MaaS 実証実験について情報共有
 - 株式会社 NTT ドコモより資料2に沿って説明

(3) MaaS 認知獲得施策の具体化検討

ア. 認知獲得施策の事例紹介

- MONET Technologies 株式会社より資料 3 に沿って説明

イ. MaaS 認知獲得施策に関連して各社取り組みたい内容の発表

- 事前にご準備いただいた資料をもとに各社発表・質疑応答を実施

ウ. 発表を受けてグループワーク

テーマ：各社が発表した施策案の絞り込み・実装に向けた討議

- ワークシートを活用したグループワークを実施

3. 連絡事項

- 事務局より、MaaS 認知獲得施策案を評価・選定するためのアンケートを実施するため、PT メンバーの皆様にご協力いただきたい旨説明

4. 閉会

以上